

# より使いやすい道路へ進化

《淡路島中央スマートICの開通》

2018年(平成30年)2月17日、本四高速と洲本市が整備を進めた淡路島中央スマートICが開通した。

これにより、企業誘致の推進、観光振興の支援、時間短縮による利便性の向上、広域的な緊急輸送の充実、緊急輸送路の機能向上などの効果が期待されている。

《坂出北ICのフルインター化》

2017年(平成29年)7月21日、国土交通省から坂出北ICのフルインター化についての事業化

が発表された。現在、本州方向のみへの出入りが可能である坂出北ICについて、四国方面への出入りも可能となるようフルインター化の事業を実施中である。

## 地域と共に

《SA・PAリニューアル》

以上の事業に加え、J本四高速グループは、利用者に本四高速道路をより快適に利用していただくためのSA・PA事業の展開、地域の自治体等と連携した瀬戸内地域の活性化、観光振興にも積極的に取り組んでい

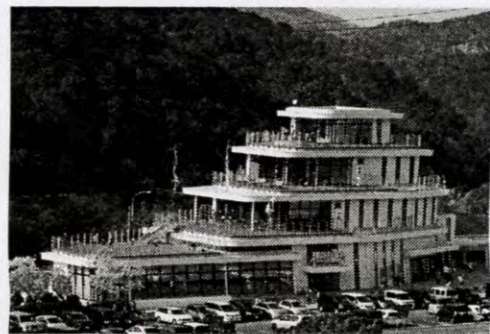
この事業により、坂出港の災害時救援物資の輸送拠点化や中心市街地通過交通の減少による安全性の向上などが期待される。2018年度(平成30年度)は基本設計に着手し、2024年度(平成36年度)の供用を目指している。

る。

SA・PAのリニューアルを計画的に行うとともに、「小さな名所づくり」として淡路SAに「恋人の聖地 蓄光石」を設置するなど、新たな観光スポットの創出に努めている。

2017年度(平成29年度)は、淡路島南PA上り及び与島PAのリ

## 3月 リニューアルオープン



淡路島南PA

与島PA

ニューアル工事を行い、それぞれ2018年(平成30年)3月にオープンした。

《インフラツアー》

明石海峡大橋では高さ約300mの主塔に登頂する「ブリッジウォール」を毎年4月～11月の毎週木曜日から日曜日及び祝日に開催している。

ブリッジウォールは、インフラツーリズムの先駆けとして、2005年度(平成17年度)の開始以来、昨年5月には、参加者が延べ10万人を越え、近年は、海外からの参加者「インバウンド」が全体の約2割を占めている。

頂体験ツアーを実施するなど、海峡部長大橋を活用した多くのインフラツアーを実施し、お客様に橋の雄大さ、技術の素晴らしさを伝えている。さらに、明石海峡大橋、瀬戸大橋、新尾道大橋、来島海峡大橋ではライトアップも行っており、地域の観光資源としての役割も担っている。